

11月のおすすめ本

『告白 岐阜・黒川 満蒙開拓団 73 年の記録』

【分類 1201/カ】川恵実/著 NHKETV 特集取材班/著 かもがわ出版 2020 年

2018 年 11 月、「乙女の命と引き替えに 団の自決を止める為 若き娘の人柱 捧げて守る開拓団」からはじまる碑文が「乙女の碑」に加えられました。終戦を前にして満州の開拓団にいったい何が起きたのか。なぜ「乙女の碑」に長い間碑文がなかったのか。当事者や遺族、関係者への丁寧な取材でその理由が明らかになっていきます。戦争の実像を語り伝えることの大切さがよくわかります。おすすめです。

『よかれと思ってやったのに 男たちの「失敗学」入門』

【分類 3105/キ】清田隆之（桃山商事）/著 晶文社 2019 年

恋の話を収集するという変わったユニット「桃山商事」。著者は多くの女性の話に耳を傾けたなかで、男性に対する不満や疑問に感じた内容が驚くほど似通っていることに気づきます。その頻繁に出てくる男性の姿を、20 のテーマに分類し問題点や対策について書かれている本です。よかれと思った自らの行動や言動で傷付けないために、読んでいただきたい内容です。

『百年後を生きる子どもたちへ 「帰れないふるさと」の記憶』

【分類 S/4208/ト】豊田直巳/写真・文 農山漁村文化協会 2020 年

東日本大震災による原発事故で福島県浪江町津島の「ふるさと」を追われた人々の避難先での暮らし、ふるさと津島への一時帰宅等の記録であり、百年後を生きる津島の子孫たちへのメッセージでもあります。著者の「風化させてはいけない」という思いが伝わってきます。第 66 回「産経児童出版文化賞」大賞を受賞した「それでも『ふるさと』全 3 巻」続編の写真絵本です。

福島県男女共生センター図書室 3階